

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2020年10月9日
【四半期会計期間】	第67期第3四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	アスカ株式会社
【英訳名】	ASKA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 片山 義規
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 片山 義浩
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 片山 義浩
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第3四半期連結 累計期間	第67期 第3四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自2018年12月1日 至2019年8月31日	自2019年12月1日 至2020年8月31日	自2018年12月1日 至2019年11月30日
売上高 (千円)	23,893,709	18,051,712	32,355,315
経常利益 (千円)	1,034,313	333,036	1,460,674
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	767,006	265,755	1,046,841
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	563,779	95,196	991,951
純資産額 (千円)	6,981,032	7,315,986	7,409,204
総資産額 (千円)	32,338,941	30,583,651	33,042,632
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	134.34	46.55	183.35
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	21.6	23.9	22.4

回次	第66期 第3四半期連結 会計期間	第67期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2020年6月1日 至2020年8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 (円)	23.29	22.71

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「配電盤事業」から「制御システム事業」に変更しております。この名称変更によりセグメント情報に与える影響はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済の情勢は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、個人消費、設備投資、輸出が急激に減少するなどマイナス成長が続いております。また、海外においても、米国経済、欧州経済は大幅に悪化しております。その結果、当社グループの主要なお客様の減産、販売の落ち込みによる影響を受け、先行きに関しては不透明な状況が続いています。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高180億5,171万円（前年同四半期比24.4%減）、営業利益3億1,796万円（前年同四半期比70.2%減）、経常利益3億3,303万円（前年同四半期比67.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億6,575万円（前年同四半期比65.4%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「配電盤事業」から「制御システム事業」に変更しております。

〔自動車部品事業〕

国内及び海外で、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月以降完成車メーカーの生産ラインの稼働が著しく減少したことにより、部品売上が減少しました。この結果、当事業の売上高は、123億6,656万円（前年同四半期比27.0%減）となりました。営業利益は、7,870万円（前年同四半期比88.2%減）となりました。

〔制御システム事業〕

既存得意先からの受注が減少した結果、当事業の売上高は、22億225万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。一方、固定費の減少により、営業利益は、1億5,861万円（前年同四半期比30.0%増）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

国内及び海外工場向けの自動化システムの国内受注が減少した結果、当事業の売上高は、31億2,014万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。営業利益は、1億8,740万円（前年同四半期比34.2%減）となりました。

〔モータースポーツ事業〕

1月にコース改修のため、1カ月間休業したことに加え、4月以降のイベントが延期または規模を縮小して開催した結果、当事業の売上高は、4億7,523万円（前年同四半期比44.1%減）、営業損失は、1億5,475万円（前年同四半期比5,953万円の営業損失）となりました。

〔賃貸及び太陽光事業〕

太陽光発電及び社内への賃貸売上が若干減少した結果、当事業の売上高は、3億8,036万円（前年同四半期比1.2%減）、営業利益は、4,637万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、79億9,629万円の前連結会計年度末に比べ31億7,318万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が25億4,186万円、仕掛品が6億8,076万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は225億8,735万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1,419万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が8億7,109万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、305億8,365万円の前連結会計年度末に比べ24億5,898万円の減少となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、100億139万円の前連結会計年度末に比べ38億6,742万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が11億2,411万円、電子記録債務が11億1,818万円、短期借入金が12億9,000万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は、132億6,626万円となり前連結会計年度末に比べ15億166万円増加いたしました。これは主に長期借入金15億8,378万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、232億6,766万円となり、前連結会計年度末に比べ23億6,576万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、73億1,598万円となり前連結会計年度末に比べ9,321万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が1億4,296万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、23.9%（前連結会計年度は22.4%）となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は4,082万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,715,420	5,715,420	名古屋証券取引所(市場 第二部)	単元株式数100株
計	5,715,420	5,715,420	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日	-	5,715,420	-	903,842	-	901,555

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,708,900	57,039	-
単元未満株式	普通株式 720	-	-
発行済株式総数	5,715,420	-	-
総株主の議決権	-	57,039	-

(注) 証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式(その他)欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アスカ株	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地	5,800	-	5,800	0.10
計	-	5,800	-	5,800	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,884,213	1,980,634
受取手形及び売掛金	1 5,714,952	1 3,173,090
商品及び製品	171,091	174,932
仕掛品	1,990,717	1,309,955
原材料及び貯蔵品	326,574	367,026
その他	1,081,929	990,660
流動資産合計	11,169,479	7,996,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,136,215	7,994,823
機械装置及び運搬具(純額)	4,572,687	4,228,163
土地	5,713,503	5,763,739
その他(純額)	895,281	2,202,054
有形固定資産合計	19,317,687	20,188,779
無形固定資産		
のれん	107,913	71,942
その他	28,399	39,995
無形固定資産合計	136,313	111,938
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500,878	1,310,702
その他	918,273	975,931
投資その他の資産合計	2,419,152	2,286,634
固定資産合計	21,873,152	22,587,352
資産合計	33,042,632	30,583,651
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 3,041,142	1 1,917,023
電子記録債務	1 2,563,510	1 1,445,328
短期借入金	3,160,000	1,870,000
1年内返済予定の長期借入金	2,895,156	3,611,154
リース債務	105,683	107,907
未払法人税等	225,015	27,806
賞与引当金	51,899	173,339
その他	1,826,413	848,835
流動負債合計	13,868,820	10,001,395
固定負債		
長期借入金	10,021,147	11,604,934
リース債務	490,674	393,091
役員退職慰労引当金	373,665	388,665
退職給付に係る負債	794,675	792,652
その他	84,442	86,924
固定負債合計	11,764,606	13,266,269
負債合計	25,633,427	23,267,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	900,444	900,444
利益剰余金	5,038,553	5,115,894
自己株式	3,633	3,633
株主資本合計	6,839,207	6,916,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543,593	400,627
為替換算調整勘定	2,806	21,014
退職給付に係る調整累計額	25,298	15,855
その他の包括利益累計額合計	566,084	395,468
非支配株主持分	3,913	3,970
純資産合計	7,409,204	7,315,986
負債純資産合計	33,042,632	30,583,651

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
売上高	23,893,709	18,051,712
売上原価	21,358,158	16,439,085
売上総利益	2,535,551	1,612,626
販売費及び一般管理費	1,470,260	1,294,661
営業利益	1,065,291	317,965
営業外収益		
受取利息	8,104	4,443
受取配当金	33,020	32,296
助成金収入	2,775	25,123
その他	80,522	62,513
営業外収益合計	124,423	124,377
営業外費用		
支払利息	72,251	52,692
固定資産除売却損	24,365	2,186
為替差損	10,755	29,349
その他	48,028	25,077
営業外費用合計	155,400	109,306
経常利益	1,034,313	333,036
特別利益		
補助金収入	-	60,318
特別利益合計	-	60,318
税金等調整前四半期純利益	1,034,313	393,355
法人税、住民税及び事業税	284,845	142,124
法人税等調整額	18,072	14,628
法人税等合計	266,773	127,496
四半期純利益	767,539	265,859
非支配株主に帰属する四半期純利益	532	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	767,006	265,755

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	767,539	265,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173,105	142,965
為替換算調整勘定	38,516	18,254
退職給付に係る調整額	7,861	9,442
その他の包括利益合計	203,760	170,662
四半期包括利益	563,779	95,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	563,293	95,139
非支配株主に係る四半期包括利益	485	57

【注記事項】

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大は、経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、当社グループの事業活動にも影響を及ぼしております。

このような状況は、当連結会計年度中は続くことが見込まれますが、徐々に正常化することを仮定して、繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債務

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債務の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日のため、次の連結会計年度末日満期手形及び電子記録債務が、前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
受取手形	37,730千円	- 千円
支払手形	14,933	-
電子記録債務	482,017	-

2. 保証債務

次の会社の借入等に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
N&Aテック株式会社(連帯保証)	176,000千円	200,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
減価償却費	1,147,333千円	1,138,603千円
のれんの償却額	35,971	35,971

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月27日 定時株主総会	普通株式	108,482	19	2018年11月30日	2019年2月28日	利益剰余金
2019年6月27日 取締役会	普通株式	45,676	8	2019年5月31日	2019年7月26日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月27日 定時株主総会	普通株式	165,576	29	2019年11月30日	2020年2月28日	利益剰余金
2020年6月25日 取締役会	普通株式	22,838	4	2020年5月31日	2020年7月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	制御シス テム事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	16,947,902	2,252,424	3,742,701	849,641	101,039	23,893,709	-	23,893,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	87,894	53,910	-	283,953	425,757	425,757	-
計	16,947,902	2,340,318	3,796,611	849,641	384,992	24,319,466	425,757	23,893,709
セグメント利益又は損失 ()	665,044	121,999	284,992	59,533	51,168	1,063,671	1,620	1,065,291

(注)1. セグメント利益の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	制御シス テム事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	12,366,560	2,101,132	3,002,654	475,232	106,131	18,051,712	-	18,051,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	101,120	117,487	-	274,236	492,844	492,844	-
計	12,366,560	2,202,253	3,120,142	475,232	380,367	18,544,556	492,844	18,051,712
セグメント利益又は損失 ()	78,706	158,611	187,400	154,752	46,379	316,345	1,620	317,965

(注)1. セグメント利益の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「配電盤事業」から「制御システム事業」に変更しております。この名称変更によりセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称により表示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	134円34銭	46円55銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	767,006	265,755
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	767,006	265,755
普通株式の期中平均株式数(株)	5,709,566	5,709,547

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年6月25日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....22,838千円

(ロ) 1株当たりの金額.....4円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2020年7月28日

(注) 2020年5月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月 8日

アスカ株式会社

取締役会 御中

監査法人コスモス

代表社員
業務執行社員

公認会計士

富田 昌樹

印

業務執行社員

公認会計士

相羽 美香子

印

業務執行社員

公認会計士

長坂 尚徳

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の2019年12月1日から2020年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。